

内部障害者のことを 知ってください

「内部障害者」という言葉をご存知でしょうか。心臓、腎臓などの身体内部に障害のある人のことで、鳥取市にもたくさん内部障害者がいます。外から見ただけでは、病気とわかりにくく、元気に見えるかもしれませんが、外見だけで判断せず、しっかりと当事者の話を聞いてください。そして、当事者を取り巻く差別の実態を知り、ともに生きる関係をつくっていきましょう。

内部障害児（心臓病）の 母の思いから

私の娘は、内部障害者（心臓病）です。この障害は、発作が起った時にはじめてことの重大さに気づかれます。それは、命にかかわることだからです。一刻を争うだけに、周りの認識や配慮が必要となります。

内部障害は、外見で見ただけではわかりません。また、心臓病といってもさまざまナケースがあり、学校でも、職場でも周りの方の正しい理解と認識が頼りです。

わが子の産声は、蚊の鳴くような声でした。なにがあったのか分からないまま、その日は子どもとの対面はできませんで

した。2日目によくわが子と対面しました。本当にかわい子でした。その日の夕方、先生から、心臓に欠陥があることを聞かされました。やっぱりという思いと同時に、どうして？これからどうしたらいいんだろうと動転しました。しかし、先生の言葉に励まされて、くよくよしてはいけなないと自分で自分を叱咤したのです。

そして、病院通い、入院という生活に入りました。東京で手術を受けることになった時、自分の中にあつたさまざまな不安などを聞いてもらおうと、先生から教えていただいた「心臓病の子どもを守る会」に加入し、仲間とともに活動を始めました。

この会では、心臓病者とそ

の家族の苦しみをなくすため、会員が相互に連携し助け合っています。医療の問題、社会保障のことなども会員の大きな悩みごとです。障害があっても人間らしく生きたいという願いの前に、あまりにも多くの課題があります。

外見だけでは障害があることが分からないため、「いつも体育を休んでずるい」、「ちゃんと走って」など、いじめを受けすることもありました。また、学校を長期間休んでも、学習の保障はありません。入院費などの負担も大きくふりかかってきました。

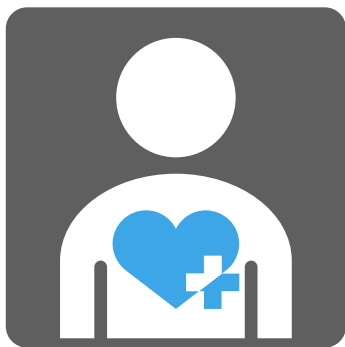
この子は部落出身者でもあり、厳しい差別が待ち受けているであろうと思います。就職において、恋愛において、結婚において…。

私は、部落差別をなくする取り組みから、人間の尊さを学び、差別をなくすることの大切さと仲間の存在を知りました。わが子にこのことを伝えていき、共に立ち向かっていきたいと思っています。

どうかみなさん、差別で苦しむ人々がいない社会をともに築いてください。

◆問い合わせ先
市役所本庁舎人権推進課
☎(0857)2013144

このマークは 「ハート・プラス」という名前です。



このマークは「身体内部に障害がある人」を表現しています。内部障害とは心臓、腎臓、呼吸器、膀胱・直腸、小腸の機能障害とヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害の6障害の総称です。いずれも永続して日常生活が著しく制限を受ける障害です。外見からは分かりにくいため、さまざまな誤解や差別を受けることが多いのです。そこで、内部障害のある人たちは自らのことを知ってもらおうと、「ハート・プラス」マークをつくり積極的な啓発活動をしています。このマークを通して、いろいろな障害のある人たちに思いをはせることができる私たちでありたいと思います。